

モノづくり力徹底強化検討会

Retoo 営業部 部長 田中利樹氏

SCSKサービスウェア 第一事業本部 事業推進部 轆轤朋美氏

営業DXの最前線
活動時間×対話＝成果
ITを駆使した営業活動可視化の取り組み

モノづくり日本会議は、2022年12月6日、モノづくり力徹底強化検討会としてオンラインセミナー「営業DXの最前線」を開催し、活動時間×対話＝成果、ITを駆使した営業活動可視化の取り組み」を開いた。従来あった営業DX(デジタル変革)のイメージを改めて、時間的・人的・金銭的コストを削減し、営業活動可視化の取り組みと題して講演した。営業組織のDXは売り上げ利益の向上を目的に「良い〇〇を表現するデータ」を集めて可視化し、改善の把握や改善策の実行

時間データ可視化 ■ 非対面営業 底上げ

「時間のデータを駆使して営業活動可視化の取り組み」と題して講演した。営業組織のDXは売り上げ利益の向上を目的に「良い〇〇を表現するデータ」を集めて可視化し、改善の把握や改善策の実行

顧客との会話をデータ化し、分析することで会話の最適化を図るものという。限られた時間で成果を出すための行動量を管理するため、時間データの取得が必要だと強調。日本企業の生産性が低い理由も分かるため、田中部長は「まずは時間データの可視化が重要」と述べた。営業担当の時間データを集め、問題点の把握と改善策案を行う自社システムを解説した。

続いてSCSKサービスウェア(同江東区)第一事業本部事業推進部の轆轤朋美氏が「個人のスキルに頼らない！セルズトークの見える化で非対面営業の成功率を簡単に上げる方法」について講演を行った。ITを駆使したセルズトークの見える化で非対面営業の成功率を簡単に上げる方法について講演を行った。ITを駆使したセルズトークの見える化で非対面営業の成功率を簡単に上げる方法について講演を行った。

モノづくり日本会議 主な行事

- ロボット活用の最前線 神奈川県の実績報告**
モノづくり日本会議は神奈川県、NTTデータ経営研究所(東京都千代田区)と共催で28日14時からオンラインセミナー「ロボット活用の最前線 神奈川県『新型コロナウイルス感染症対策ロボット実装事業報告』」を開催する。県では新型コロナウイルス対策ロボットの導入実証を行った。セミナーでは事業の成果報告やサービスロボット導入・普及の第一人者である東京都立大学の和田一義准教授の講演、関係者によるパネルディスカッションを行う。
- 「コミュニケーション&ブランディング管理」セミナー**
モノづくり日本会議は、3月17日14時からオンラインセミナー「ソーシャルメディアが牽引する共有型経済下でのモノづくり企業の『コミュニケーション&ブランディング管理』」を開く。Webコミュニケーション運用支援「アリエスコム」事業主宰の加藤智明氏がソーシャルメディアにより効果的となったコミュニケーション管理とマーケティングについて講演。併せて盛光SCM(大阪府東大阪市)の草場寛子社長が製造経験ゼロで経営を始めた経験から、コミュニケーションをテーマとした企業文化の発信や地域活性化の活動などを紹介する。

ダイバーシティ推進シンポジウム 企業の先進事例と共に

**ジェンダー平等の視点から考える多様性
ダイバーシティを尊重する取組み**

ジェンダーとは社会的・文化的に形成された性別で、身体的な性別に与えられた役割や期待を指す。ジェンダー平等とは、性別に関わらず、誰もが平等に活躍できる社会を目指すこと。ジェンダー平等の推進には、企業文化の改革や制度の整備が必要。ジェンダー平等の推進には、企業文化の改革や制度の整備が必要。

国立女性教育会館理事長 日本NPOセンター代表理事 立教大学名誉教授 萩原 なつ子氏

ジェンダーとは社会的・文化的に形成された性別で、身体的な性別に与えられた役割や期待を指す。ジェンダー平等とは、性別に関わらず、誰もが平等に活躍できる社会を目指すこと。ジェンダー平等の推進には、企業文化の改革や制度の整備が必要。

無意識・暗黙の偏見認識 — 意識改革 重要

無意識・暗黙の偏見認識 — 意識改革 重要

無意識・暗黙の偏見認識 — 意識改革 重要

無意識・暗黙の偏見認識 — 意識改革 重要

キリン式 誰もが働きやすい環境をつくる「なりキリンママ・パパ研修」のご紹介

キリン式 誰もが働きやすい環境をつくる「なりキリンママ・パパ研修」のご紹介

キリン式 誰もが働きやすい環境をつくる「なりキリンママ・パパ研修」のご紹介

キリン式 誰もが働きやすい環境をつくる「なりキリンママ・パパ研修」のご紹介

育児・親の介護…疑似体験で気づき得る

育児・親の介護…疑似体験で気づき得る

育児・親の介護…疑似体験で気づき得る

育児・親の介護…疑似体験で気づき得る

超モノづくりへの挑戦

「モノづくり日本会議」は、2007年9月に設立した「モノづくり推進会議」での活動を土台に、広域企業ネットワークや他機関との連携を活用し、日本のモノづくり産業の強化に役立つ実践的な勉強会・シンポジウムなどのイベントや交流会などの活動を展開しており、日刊工業新聞社が事務局を務めさせていただいている団体です。

少子高齢化、環境対応、資源・エネルギー問題など様々な課題を乗り越え、「超モノづくりの推進」をテーマに、事業を進めております。これまでの取り組みを発展・拡充させるとともに、IoTやAIを含めたロボット産業や「防災イノベーション」など、横断的テーマについては、より実践的な成果を目指します。

先進的な技術やノウハウを有する会員企業をはじめ、多彩な連携機関のご協力をいただき、モノづくり産業のさらなる発展を目指して事業を展開し、モノづくり産業の競争力強化につながるよう、地域間、企業間連携をおこない、ビジネスマッチングなども図っていきます。

- モノづくり日本会議の事業**
- グローバル競争力強化関連事業**
・モノづくり力徹底強化検討会 ・人材育成関連事業 ・長寿企業イノベーション勉強会
・ビジネスモデル価値創造研究会 ・新モビリティ研究会 ・企業価値革新検討会
- 新産業・ビジネス創出/ビジネスモデル構想力向上検討事業**
・新産業技術促進検討会 ・ロボット研究会 ・AI研究会
- その他の事業コンテンツ**
・顕彰事業 ④モノづくり部品大賞 ・モノづくり推進シンポジウム ・特別講演会
・地区別研究会 ・交流・マッチング事業 ・会員向け調査レポート
- 各事業の詳細は、モノづくり日本会議ホームページ(www.cho-monodzukuri.jp)をご覧ください。

お問い合わせ先 **モノづくり日本会議**
モノづくり日本会議事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14番1号(日刊工業新聞社内)
Tel.03-5644-7608 Fax.03-5644-7209

